医療機関の長 様

広島市医師会
会長 長崎 孝太郎

4種混合ワクチン接種に係る疑義について（お知らせ）

日頃より、各種健診及び予防接種事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成24年11月9日に開催されました4種混合ワクチンの導入に関する説明会で質問があった事項について広島市より回答がありましたのでお知らせいたします。

なお、掲載していないその他の質問項目につきましては、広島市において引き続き検討されております。

	質 問 事 項	回 答
1	4種混合ワクチンを接種した後に、供給不足により4種混合ワクチンを接種できない場合は、3種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを接種してもよいか。	ワクチンの供給不足等により4種混合ワクチンでの接種が完了できない場合は、3種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを接種してください。
2	上記の場合、ポリオの接種記録を母子健康手帳にはどのように記載すればよいか。	ポリオの接種歴については、ジフテリア等の接種歴の枠の中に、3種混合ワクチンとポリオを2段書きにしてください。 困難な場合は、「不活化ポリオワクチン接種歴記載用紙」を貼り付けて記載してください。
3	3種混合ワクチンから4種混合ワクチンに移行する際に、4種混合ワクチンの接種券は、3種混合ワクチンの回数に応じたものを使用することになっているが、ポリオとの回数が違う場合はどのようにすればよいか。	3種混合、ポリオワクチンから、4種混合ワクチンの接種へ移行する場合には、3種混合ワクチンとポリオワクチンの接種回数を同じにして移行するようにしてください。
4	母子健康手帳の3種混合の接種記録記載欄に「・ポリオ」と記載すると、3種混合と4種混合の記録が混在した場合、将来見た際に3種混合は何のワクチンであるかが分からなくなるのではないか。	接種記録記載欄には、ワクチンのロットシールを貼付していただいています。3種混合ワクチンのシールには「DPT」と記載されていることから、問題はないと考えています。
5	「20日から56日までの間隔を置いて」とあるがその根拠は何か。	厚生労働省に確認したところ、「20日は、臨床試験の抗体価の上昇結果から定められた。56日は、抗体価による医学的なものではなく、法律での定期接種の枠組として定められた日数である。」との回答を得ました。
6	「20日から56日までの間隔を置いて」接種していない接種は定期予防接種の対象とならない旨を市民へどのように周知するのか。	広島市ホームページに掲載するとともに、接種前に読んでいただく予防接種説明書にもその旨記載しています。

<お問い合わせ先> 広島市保健部保健医療課
電話：504-2622